

2003年7月31日、特定非営利活動法人「虹の会」が県の認証を受けて丸10年、現在地に「宅老所 虹の家」が介護保険事業として始まったのは2003年11月、2006年高額の寄付により土地・建物の購入が実現し、2007年国の整備資金を使って改築及び一部新築工事を行い、2008年6月より小規模多機能型居宅介護事業に移行して現在に至っています。これまで関わった高齢者の数は60数名に及んでいます。この間、沢山の方とのお別れもありました。また、介護保険外の事業として地域の皆さんとは虹の家サロン、たまりんば虹、サンデーたまりんば虹などで、多くの方がたとも関わらせていただいています。そして虹の家・虹の会を何かと支えていただいている沢山の方がたがいます。

虹の家開設十年の節目に当たり、記念事業をと理事会で検討した結果、下記の概略で計画したいと思えます。

テーマ： みんなで熱く語ろう！ “安心して自宅に住み続けるには”

第一部 寸劇 （こんな風に虹の家が利用できます）

第二部 小グループで話し合ひましょう（※テーマについて）

※武蔵野大学社会福祉学科准教授 渡辺裕一先生の指導で行います。

とき： 2013年10月5日（土） 13時30分～15時30分

ところ： 新木近隣センター 1階 多目的ホール（近隣の他団体の共催を得る予定）

避難訓練を実施して

防火管理者 宿谷 良子

6月20日、夜間を想定した防災訓練を実施しました。

お泊り利用者4名、夜勤スタッフ1名です。夜勤者のSスタッフは、施設長、・消防・近所への通報、誘導と、必死に役割をこなしました。地域の方も17名かけつけてくださり、出火から6分で避難することができました。

消防の方からは、火が天井までいったら初期消火は無理なので避難すること。出火場所の戸は、燃え広がってしまうので、閉めること。煙を吸うと動けなくなるので、タオル等で口をふさぐこと等々のアドバイスがありました。

「近所に知らせるのはバケツの方が良い。」「車椅子の使用法を知っていたがあわててしまった。」・等、反省も多く出されました。本日の訓練を教訓に、次回へつないでいきたいと思えます。

今回、多くの地域の方がたの協力を得、訓練を終えることができました。本当にありがとうございました。今後とも、ご協力、よろしく願ひします。



ある日の散歩でのこと

95歳になるAさんは牛久大仏行きはちょっと遠いので行けませんでした。

それである日、近くのレストランにあんみつを食べに若い職員とAさん、施設長で出かけました。

レストランは3～5時は休業中。近くの公園に行って、コンビニで買ったあんみつを食べ満足。

公園内を散歩中、若い職員が「ほら、朝顔が咲いているよ」とAさんに話しかけている。Aさんはポカ～ン。若い職員はあじさいのことを朝顔と言っていることがわかって三人で大笑い。

近頃、虹の家はみんなでアレとかコレとかで話が通じています。若い職員もすっかり染まっているようで～す。（かわいそうに）